

CVP Media Server のデフォルトパスの代りに異なるパスにメディア ファイルをアップロードする方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[推奨処置](#)

概要

この資料に Cisco カスタマー 音声ポータル (CVP) Media Server のデフォルト の ロケーションパスの代りに異なるパスにメディア ファイルをアップロードする方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Unified Customer Voice Portal (CVP)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP 11.5

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題

CVP が D にインストールされている時: デフォルトインストールをインストールします D にす

すべてのメディア ファイルを駆動して下さい: しかし CVP によって提供される他 API を使用してメディア ファイルをアップロードするのにメディア ファイルを作成するために Cisco Unified コンタクトセンター 管理 (CCMP) のようなツールが使用されているとき /<media ファイル ルート directory> は C に CVP ファイルをアップロードします: <media ファイル ルート directory>。

推奨処置

config ファイル <inastallation drive> をアップデートして下さい: \cisco\cvp\CONF\orm.properties。

パラメータ: IIS メディア Server> の mediaserver.root.dir = <Base パス

次に、例を示します。

へメディア ファイルを D にアップロードするため: /intepub/wwwroot パス

使用: mediaserver.root.dir = D: /intepub/wwwroot パス

詳細:

メディア ファイルを作成する [CSCvc65944](#) 他 API は C のファイルを常に作成します: CVP が D にインストールされていても: